

兵庫県の「ストップザ獣害事業」を活用



センサーカメラ等の活用により捕獲効率の向上を図る。



箱罠は地域でこまめに移設





その結果、捕獲数は増加傾向

■捕獲実績

H29年度: 鹿 1頭·猪 9頭(檻3基)

H30年度: 鹿 2頭·猪 11頭(檻6基)

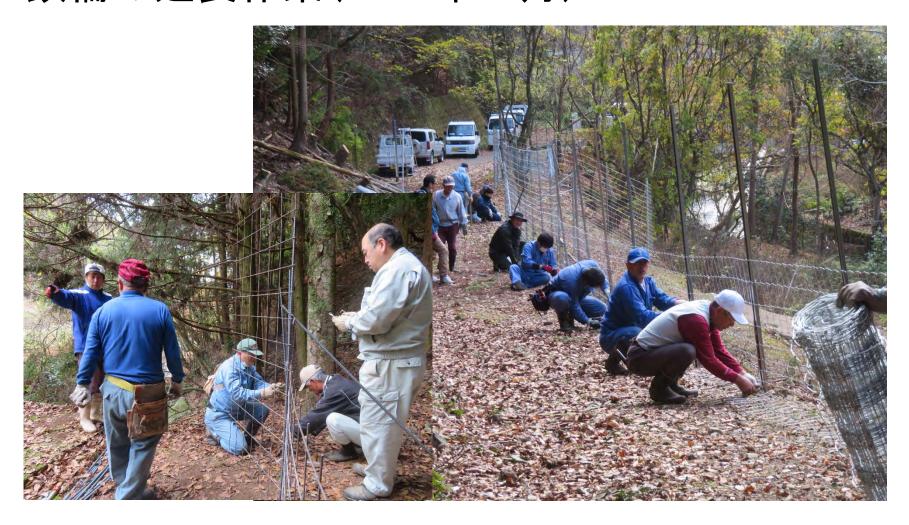
R 1年度: 鹿18頭·猪 18頭(檻8基)

R 2年度: 鹿 19頭·猪20頭(檻8基)

※令和2年度は1月末時点

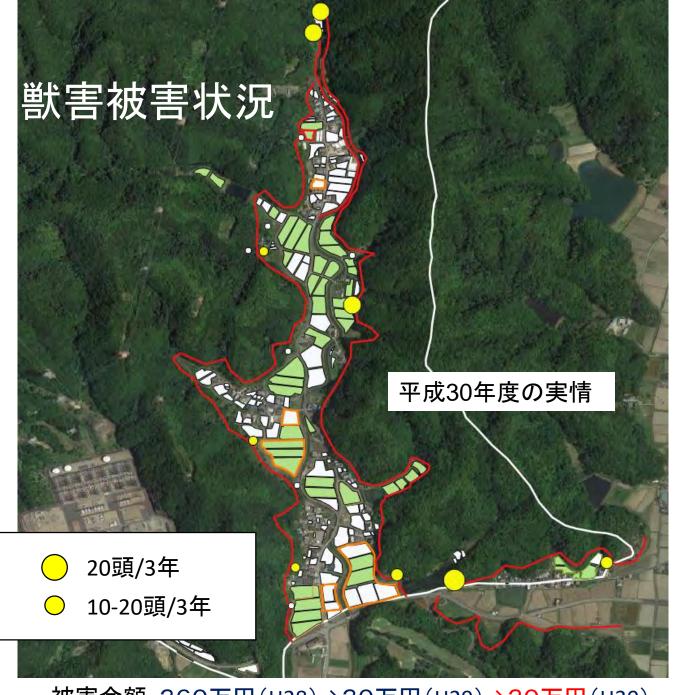
- ■合せて集落柵の補強・延長
- ・平成30年度より年に1度、鉄柵補強・環境整備作業を実施!
- ・令和2年度も330mの延長を実施
 - ■甚大な被害の農地が減少

鉄柵の延長作業(2020年11月)

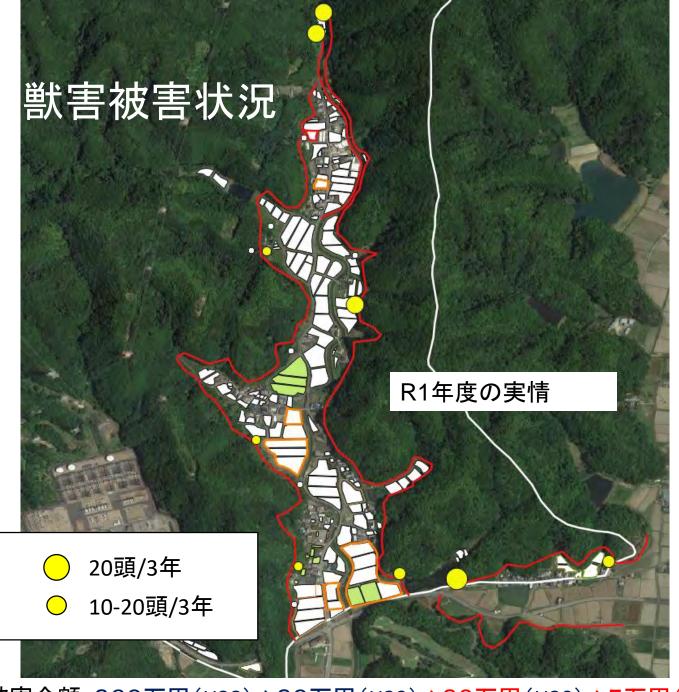


従来の鉄柵と業者推奨の鉄柵を比較で330m延長





被害金額:360万円(H28)→30万円(H29)→30万円(H30)



被害金額:360万円(H28)→30万円(H29)→30万円(H30)→5万円(R1)

これからの課題

- ■川、道路からの野生動物の進入
- ■柵の老朽化後の再設置
- ■獣害被害発生時の緊急対応
- ■捕獲動物の解体処理
- ■高齢化による出役可能人数の減少